

ゆるるキャラ 需要に照準

織布メーカーの丸井織物（石川県中能登町）は、無料通信アプリLINE（ライン）のスタンプを法人用に制作する新事業を始めた。企業が顧客に親近感を持ってもらうため、オリジナルの「ゆるキャラ」を制作し、アピールするケースが増えており、同社はゆるキャラを描いたスタンプなどを提供する。すでに東京や長野などから100件を超す受注があるという。

LINEのスタンプは、メッセージをやりとりする際に

送信し、送り手が自身の喜怒哀楽を、スタンプに描かれたキャラクターの表情で相手に伝える。全国チェーンの飲食店や商業施設などが、販促企画の一環として自社オリジナル



丸井織物 企業のLINEスタンプ制作

ルのスタンプを配信している。

丸井織物は、契約したプロのデザイナー50人の作品見本を参考に、依頼を受けた企業のイメージに合った「ゆるキャラ」などを制作する。最短期1カ月で完成し、LINE運営側の認可を得て配信する。動画、音声付きにも対応する。同社は昨年末、ITを取り入れた新事業として、LINE

本業拡大の機会に

Eスタンプの制作を始めた。企業からの引き合いが増えてきたため、法人営業を本格的に展開することにした。これまで持ち帰りすしチェーンの京樽（東京）のほか、種子島観光協会、長野県豊丘村などから受注があった。

LINEを社内チームや部署ごとの連絡網として利用するケースも増えている。社員への事務連絡などを円滑に行うため、社長や役職者をモデルにしたスタンプを作り、メッセージとともに配信したいという希望もあるという。キャラクターの著作権は発注した企業が所有でき、Tシャツやタオルなど各社の販促物に使うこともできる。

丸井織物はLINEスタンプ事業を新たな収益の柱として育てるとともに、同事業で獲得した新規顧客に自社開発の素材を売り込むなど、本業である繊維事業の拡大にもつなげたい考えである。